

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

<h2 style="margin: 0;">空き家で商いの促進</h2>	自治体名 <h2 style="margin: 0;">渋川市</h2>
---------------------------------------	---

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1

中心となる事業者やハブとなる機関がない

空き家問題の解決に興味がある事業者が公的機関と繋がりがながら、空き家の状態の把握をし、マッチングをすることで市民や移住者、市外の人たちからも頼られる”何かやりたい人”のための民間事業となるために、何が可能か？

2

DIY や自己補修についての市民の知識不足

空き家を活用したい市民が実際の DIY や自己補修した空き家の活用例を知ることによって DIY や自己補修の知識が豊富になるために、何が可能か？

3

相談窓口がわかりにくい

どこに相談したらいいかわからない空き家活動希望者にわかりやすい窓口を作ることで空き家活動の方針を決定するために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

つくれ！ 我らの秘密基地！	2023年1月から、渋川市並木町で、地域おこし協力隊の星野隊員とはくらの千明が実際の空き家を使ったDIYワークショップイベントの実施を行う。市民の空き家の補修の知識を高める。継続的に人を集めて空き家活用の熱や、市民の空き家DIY、補修の知識を高める。
アキヤデ アキナイ	2023年4月旧渋川市域で、官民連携し、空き家問題に取り組む意志のある人が空き家活用のためのスタートアップを立ち上げる。空き家情報の収集、活用後の商業展開提案、活用人材のマッチングを行う。
お宝発掘！ もってっ亭！	来年度、地域おこし協力隊と関連業者により、所有者の許可が得られた空き家のイベントを開催する。空き家の片付けを行い、修復後にお土産としてその空き家で使っていたものがもらえる。
「一ヶ月DIY生活」 チャンネル プロジェクト	住むのが一見不可能に見える空き家に空き家を活用できる人に1ヶ月住んでもらい、DIYの過程や経験を発信する。またSNS等を活用して、空き家のDIYを発信、DIY熱を盛り上げていく。